

あびらチャンネルクリエイター講座を実施しました！

現在安平町では、「あびらチャンネル」の開局に向けた準備を行っています。

その開局に向けた事業の一環として、2日間の日程で「あびらチャンネルクリエイター講座」を実施。

2回にわたる今回の講座には、HTBでテレビ番組の制作に携わる、戸島龍太郎ディレクター、三浦貴正カメラマン、遠藤雅也アナウンサーの3名が講師として来てくれました。



プロの技を学ぶ

11月22日に、安平町追分公民館で行われた1回目の講座では、視聴者が分かりやすい映像を作るために、プロが心がけているポイントを中心に学びました。

動画を撮影するだけでも様々な技があり、意識しなければならぬのが「イメージナリーライン」。これは、視聴者がその場にいないでも、被写体となるものの位置関係を明確にするための手法で、この技に受講者からは「なるほど」との声。

テレビの世界へ潜入

12月7日は、HTBに場所を移して2回目の講座を実施。

ここでは、実際に報道番組が撮影されているスタジオや現場からの中継を放送する際に欠かすことのできない中継車など、普段見ることができないプロの現場を体感することができました。

社内見学の他にも、1回目



に続き映像作成のポイントが3名の講師から話され、その中でも実際に放映されたテレビ映像の生解説は、大変貴重な経験でした。映像の組み立て方の意図はもちろんのこと、カメラアングルやインタビュー方法などのポイントを事細かく説明してもらい、学びの多い講座となりました。講座を終え受講者にお話を伺ってみると「学んだ事を活かして、早く動画撮影してみたいと思う」などと動画作成に対する熱が高まった様子です。

必見！ テレビのプロに聞く！

ひと味違う映像作りのポイント！

- ① 思いを伝えるには アドリブで！
台本どおりに話そうとする
と棒読みになりやすいです。
アドリブで話した方が臨場感
が伝わりやすいということ
も！
- ② 設定を明確に！
映像の意図や内容を明確に
するためにも、設定は重要で
す。台本作成で煮詰まったと
きも、解決の糸口となること
もあります。
- ③ 著作権やプライバシー
に注意！
感動の超大作でも、権利の
問題で世に出せないというこ
ともあります。撮影する際は、
ご注意ください。
- ④ 文字で情報を補足！
画面に映る映像を理解する
には、5〜6秒かかるそう。
文字（テロップ）を入れるな
ら、大きく、簡潔に！
- ⑤ ベストポジションを探そう！
構図ひとつで印象は激減。
被写体ごとに構図を使い分け
て、視聴者の心を掴む臨場感
ある映像を目指そう！

この様なポイントを参考に
して、皆さんも動画を撮影し
てみませんか。
町民と協働で創るテレビ放
送「あびらチャンネル」開局
の盛り上げに、ご協力お願い
します。

